

<一般委託>

令和4年度 北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う解析業務(一般委託) 仕様書

令和4年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う解析業務に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	北下浦漁港海岸侵食対策事業で整備される海岸保全施設の整備効果の検証および将来予測等を行うものである。
2	履行期間	契約の日から令和5年3月15日
3	施行場所	横須賀市津久井1丁目4番地先から野比2丁目10番地先
4	業務内容	別紙のとおり
5	特記事項	別紙のとおり
6	関係法規	海岸法
7	資格要件	平成24年4月1日以降に、国、地方公共団体又は特殊法人等が発注した「港湾海岸又は漁港海岸の侵食対策事業における海浜安定効果の検証及び解析業務」又は「静穏度解析業務」の契約を元請けとして締結し、完了した実績があること。
8	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
9	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
10	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	監督員 連絡先	建設部 港湾整備課 鈴木諭司 (連絡先 046-822-9623)

<指示又は希望事項>

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<ul style="list-style-type: none">・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。
----------------------------------	---

業 務 仕 様 書

1 業 務 名

令和4年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う解析業務

2 業 務 概 要

解析業務 1式

3 履 行 場 所

横須賀市津久井1丁目4番地先から野比2丁目10番地先

4 履 行 期 間 (日 間)

自 令和 年 月 日
至 令和 5 年 3 月 15 日

5 業 務 目 的

北下浦漁港海岸侵食対策事業では、現在までに計画している海岸保全施設の八割が完成している。本業務では、この事業について①計画策定時に行った将来汀線予測と現在までの汀線変化とを比較し漂砂解析を行うこと②現在の砂の動きを把握したうえで今後の将来予測を行い、現計画どおり進捗させて良いのか離岸堤開口部の対策の必要性についても判断することを目的とする。

6 業 務 仕 様

業務仕様書に定めのない事項については、水産庁漁港漁場整備部発行の「漁港漁場設計・測量・調査等業務共通仕様書」によるものとし、当該共通仕様書の共通編等における契約条項等は、本市の契約条項等に読み替えて使用する。

なお、業務仕様書を最優先するものとする。

7 下 検 査 の 実 施 に つ い て

しゅん工検査前に、現場代理人が立ち合いの上、港湾整備課の実施する下検査を受けなければならない。

8 一 般 事 項 に つ い て

- (1) 本業務の基準高は、東京湾平均海面 -0.997m とする。
- (2) 受託者は、本業務を実施するにあたり業務の目的及び内容を把握し、現況の把握及び関連資料の収集を行うものとする。
- (3) 本業務は過去の業務実績を十分に理解したうえで、解析過程を業務に反映させて遂行するものとする。
- (4) 受託者は、本業務の趣旨、内容、目的等を把握し、現場において必要と思われる事項が生じた場合は、速やかに本市監督員と協議し、その指示に従うものとする。
- (5) 受託者は、印刷製本、トレース等の簡易業務以外の技術的判断を必要とする業務を第三者に請負わせてはならない。

9 解析項目について

(1) 地形変化解析

地形変化の平面、断面比較及び特性の把握

- ① 過去の測量結果より、地形変化を読み取る。
(堆積、侵食を平面、横断で図示する。)
- ② 最新の深淺測量結果より沖合方向の砂の流れを把握し、砂の移動限界水深を把握する。
- ③ 砂の卓越方向(沿岸方向・岸沖方向)を検討し、砂の絶対量を把握・比較する。
(野比地区を含め、全域的に矛盾が生じないように検討する必要がある。)
- ④ 過年度に撮影された定点写真および状況写真を活用し、測量結果とあわせてブロック別に考察する。写真は横須賀市が提供する。

(2) 整備効果の検証及び将来予測

地形変化解析及び空中写真解析の結果を基に離岸堤等整備による地形への効果を把握するとともに、計画時に予測した地形変化との比較検討を行う。

さらに、現在の地形変化を再現し、今後整備を行っていく上での地形変化の将来予測を行う。

計画時の将来予測比較結果、将来予測結果を踏まえ、計画通りの整備効果が表れているのか、今後も計画通りに進めてよいのか、問題点はないかなどを検討する。

- ① 測量結果【令和3年度測量結果(最新版)】を用いて汀線変化予測(1-Line)を再現する。
- ② 計画策定時の1-Line(概ね現在施工済み施設と一致したもの)と、再現した1-Lineを比較し、計画と同様であるかを確認・考察する。
- ③ 計画時の1-Lineと一致しなかった場合は、問題点を抽出し考察を行う。
- ④ 再現した1-Lineを用い、今後の将来汀線変化予測を行う。

次のケースⅠ～Ⅲの将来予測を行う。

- I. 4号、5号、6号、7号が完成後 (令和3年度から概ね2年後)
 - II. 4号、5号、6号、7号、1号完成後 (令和3年度から概ね5年後)
 - III. 計画施設全て完成後 (令和3年度から概ね15年後)
- ⑤ 予測した汀線変化を基に将来の施設配置について問題がないかを考察する。
 - ⑥ ④における背後地の打ち上げ高、越波流量を算出し、現計画で問題無いかを考察する。
また、今後整備予定の1号人工リーフ及び養浜の必要性についても考察する。
 - ⑦ 離岸堤開口部の対策の必要性について考察を行う。

10 照査について

受託者は照査技術者を定め、業務の完了時に照査結果を照査報告書にとりまとめ署名捺印し、監督員に提出するものとする。

照査技術者が行う照査は、次に掲げる事項とする。

- ①業務条件の適切性
- ②業務方針および業務内容の適切性
- ③各解析項目の適切性

11 成果品について

- (1) 受託者は、解析業務の成果物を作成し提出すること。
- (2) 報告書は2部作成すること（A4判、金文字黒表紙）。また、ページ数によっては分冊でも良い。黒表紙には「業務名称」、「しゅん工年月」、「発注者名」、「受託者名」を記入し、内表紙には黒表紙と同様の記載をしたうえで社印を押印すること。
- (3) 図面データはIJ CADで使用できるものとし、A3判で作成すること。図面の文字についてはA3判で判読可能な大きさとする。
- (4) 報告書をPDFに変換したうえで、図面のCADデータと同一CDに記録し報告書に添付すること。またCD表面には「業務名称」、「しゅん工年月」、「受託者名」を記入すること。詳細は監督員の指示に従うこと。

12 配置技術者について

- (1) 漁港漁場設計・測量・調査等業務共通仕様書に定められた管理技術者を現場代理人および主任技術者と読み替えるものとする。
- (2) 主任技術者及び照査技術者は、建設部門（河川、砂防及び海岸・海洋）、水産部門（水産土木）の技術士もしくはRCCM（水産土木または河川、砂防及び海岸・海洋）の資格を有すること。
- (3) 現場代理人が前項の資格を有する場合には、主任技術者を兼ねることができる。
- (4) 照査技術者は、現場代理人及び主任技術者を兼ねることができない。

13 テクリスの登録について

受託者は、受注時又は変更時及び完了時において委託代金額が100万円以上の業務について、測量調査設計業務実績情報サービス（TECRIS）入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、（一財）日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

ただし、建築関係業務においては、対象外となる場合があるので監督員と協議すること。

また、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受託者に届いた際には、直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- ① 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- ② 完了時登録データの提出期限は、業務完了後10日以内とする。
- ③ 施行中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に更新データを提出しなければならない。
- ④ 変更時と完了までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

14 その他

- (1) 業務の進捗状況等について、監督員と密に連絡を取り、業務が円滑に履行できるよう配慮すること。
- (2) 本仕様書に記載なき事項及び疑義を生じた場合には、監督員と協議の上対処すること。
- (3) 受託者が監督員に承認を求める場合は、文書によることとし、その回答も同様とする。
- (4) 関係機関との協議が必要となった際には、協議用資料を作成すること。
- (5) 受託者は、本業務の実施過程で知った秘密とされている情報を第三者に漏らしてはならない。
- (6) 業務完了後、内容について誤りが認められた場合には、受託者は速やかに訂正を行うこと。
- (7) 業務の貸与品は以下とする。

※測量関係 貸与品

【汀線・深浅】	北下浦漁港海岸基本計画検討業務(平成 22 年 3 月)
【汀線・深浅】	平成 23 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う測量業務(平成 24 年 1 月)
【汀線 2 回】	平成 24 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務(平成 25 年 2 月)
【汀線 2 回】	平成 25 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務(平成 26 年 3 月)
【汀線 2 回】	平成 26 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務(平成 27 年 3 月)
【汀線 2 回・深浅】	平成 27 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う測量業務(平成 28 年 3 月)
【汀線 2 回】	平成 28 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務(平成 29 年 3 月)
【汀線 2 回】	平成 29 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務(平成 30 年 3 月)
【汀線 2 回】	平成 30 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務(平成 31 年 3 月)
【汀線 2 回】	令和元年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務(令和 2 年 3 月)
【汀線 2 回】	令和 2 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務(令和 3 年 3 月)
【汀線 2 回】	令和 3 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務(令和 4 年 3 月)

※解析関係 貸与品

- 北下浦漁港海岸侵食対策基本計画検討調査業務(平成 17 年 3 月)
- 北下浦漁港海岸侵食対策基本計画検討調査業務(平成 18 年 3 月)
- 北下浦漁港海岸基本計画検討業務(平成 22 年 3 月)
- 平成 23 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴うモニタリング解析業務(平成 24 年 3 月)
- 平成 28 年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う解析業務(平成 29 年 2 月)

(8) 本業務は、以下の基準書等を使用し、積算している。

- | | |
|----------------|---------------------|
| ア 漁港漁場関係工事積算基準 | [全国漁港漁場協会 令和 4 年度版] |
| イ 港湾請負工事積算基準 | [国土交通省港湾局 令和 4 年度版] |

令和4年度 北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う解析業務 解析範囲図



令和 04 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

設 計 書 番 号	年度 04	
事 業 所 名	横須賀市建設部	
(工 事 ・ 業 務) 名	令和4年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う解析業務	
(工 事 ・ 業 務) 箇 所	横須賀市津久井1丁目4番地先から野比2丁目10番地先	
(河川・路線・区域)名		
単 価 採 用 地 区 名	横須賀	
事 業 区 分		
工 期	令和 05 年 03 月 15 日 まで	
設 計 金 額	(円)	
	円	
設 計 概 要		
(起工・変更)理由		

令和 04 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

<支出科目>

款	07 農林水産業費
項	02 水産業費
目	04 漁港施設整備費
節	12 委託料
細節	57 工事請負に係る委託料 [建設目]

<合併区分情報>

合併処理設定	しない	
	区 分 1	
	区 分 2	
	区 分 3	
	区 分 4	
	区 分 5	
	区 分 6	
	区 分 7	
	区 分 8	
	区 分 9	

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
業務費						
業務価格						
消費税等相当額						

令和 04 年度 積算諸条件調書(当初)

経費等情報	レ	設計業務	委託先/α、β	建設コンサルタント/α=35%、β=35%	
		測量業務			
		磁気探査業務	委託先/α、β		
		土質調査業務	施工管理費		
		土質調査業務(解析)	委託先/α、β		
	係数ランク			ランク 3	
	[港湾]設計業務等標準積算基準書 適用年版			令和04年度 適用	
	資材等単価表 適用年版			令和04年7月1日基準	
積算数量等情報	名称		採用数量	単位	備考

(その他情報欄)

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
設計業務							
解析業務			1	式			
解析業務			1	式			
侵食対策事業解析業務			1	式			第 1001 号 内訳書
直接経費			1	式			第 1002 号 内訳書
直接原価計			1	式			
その他原価			1	式			
一般管理費等			1	式			
設計業務価格			1	式			
消費税及び地方消費税相当額			1	式			10.00%
業務委託料			1	式			

第1001号 内訳書
 侵食対策事業解析業務

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 設計計画	1	式			第1001号下内
(AMA0020) 資料収集・整理	1	式			第1002号下内
(AMA0030) 地形変化解析	1	式			第1003号下内
(AMA0040) 報告書作成	1	式			第1004号下内
(AMA0050) 協議・報告	1	式			第1005号下内
(AMA0060) 照査	1	式			第1006号下内
合 計					

第1002号 内訳書
 直接経費

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0070) 旅費	1	式			第1007号下内
(AMA0080) 事務用品費	1	式			第1008号下内
(AMA0090) 業務成果品費	1	式			第1009号下内
合 計					

第1001号 下位内訳書
AMA0010 設計計画

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 設計計画	1	式			第1001号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1002号 下位内訳書
AMA0020 資料収集・整理

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0020) 現況特性の把握	1	式			第1002号単価表
(SJ0030) 資料収集・整理	1	式			第1003号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1003号 下位内訳書
AMA0030 地形変化解析

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0040) 地形変化解析	1	式			第1004号単価表
(SJ0050) 整備効果の検証及び将来予測	1	式			第1005号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1004号 下位内訳書
AMA0040 報告書作成

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0060) 報告書作成	1	式			第1006号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1005号 下位内訳書
AMA0050 協議・報告

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0070) 協議・報告 (事前・中間・最終)	1	式			第1007号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1006号 下位内訳書
AMA0060 照査

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0080) 照査	1	式			第1008号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1007号 下位内訳書
AMA0070 旅費

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0030) 旅費 関内～横浜～横須賀中央	1	式			
合 計					
	1	式			円/式

第1008号 下位内訳書
AMA0080 事務用品費

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0010) 事務用品費	1	式			
合 計					
	1	式			円/式

第1009号 下位内訳書
AMA0090 業務成果品費

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0020) 業務成果品費	1	式			
合 計					
	1	式			円/式

第1001号 単価表
SJ0010 設計計画

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	1	人			
(R0402) 主任技師	1.5	人			
(R0403) 技師 (A)	2.5	人			
(R0404) 技師 (B)	2.5	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1002号 単価表
SJ0020 現況特性の把握

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師 (A)	1.5	人			
(R0404) 技師 (B)	1.5	人			
(R0405) 技師 (C)	2.5	人			
(R0406) 技術員	2	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1003号 単価表
 SJ0030 資料収集・整理

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師 (A)	1.5	人			
(R0404) 技師 (B)	2.5	人			
(R0406) 技術員	2	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1004号 単価表
 SJ0040 地形変化解析

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	2.5	人			
(R0403) 技師 (A)	3	人			
(R0404) 技師 (B)	2	人			
(R0405) 技師 (C)	3	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1005号 単価表
 SJ0050 整備効果の検証及び将来予測

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	2	人			
(R0403) 技師 (A)	3	人			
(R0404) 技師 (B)	10	人			
(R0405) 技師 (C)	10	人			
(R0406) 技術員	12	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1006号 単価表
SJ0060 報告書作成

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1.5	人			
(R0403) 技師 (A)	2.5	人			
(R0404) 技師 (B)	2.5	人			
(R0405) 技師 (C)	2.5	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1007号 単価表
SJ0070 協議・報告 (事前・中間・最終)

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長	1	人			
(R0402) 主任技師	3	人			
(R0403) 技師 (A)	3	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1008号 単価表
SJ0080 照査

1 式 当り
適用年版 T0407
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1.5	人			
(R0403) 技師 (A)	1	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

